

カリキュラム

データ活用	表計算ソフト活用	ピボットテーブルを活用したデータ分析
-------	----------	---------------------------

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 多角的データ分析	(1)ピボットテーブルとは ・ピボットテーブルを用いることで様々な角度からの集計・分析が可能となること。その時々に必要な分析を能動的に行えること、通常の表によるものとの相違点を説明。 (2)ピボットテーブルの作成 ・分析に必要なデータを効率よく準備する方法・操作手順を説明する。 ・ピボットテーブルの構成要素、作成手順を説明し、作成練習をする。 ・分析軸・分析断面の変更する方法を練習する。 (3)ピボットテーブルの活用 ・必要に応じてピボットテーブルへの数式の追加、データのグループ化、デザインの変更、レポートの展開など出来るよう練習する。	2.0
	2 ピボットグラフによるデータの見える化	(1)ピボットグラフとは ・グラフを活用することにより、分析結果を視覚的に表示でき、伝えたいことを直観的に伝えられるようになることを説明。 (2)ピボットグラフの作成 ・基本的なピボットグラフの作成方法、グラフの構成要素を説明。 ・データ系列の入れ替え、データの追加など用途に合わせてグラフを編集できるよう練習する。 (3)ピボットグラフの種類の変更 ・表示できるグラフの種類を知り、分析結果を正確に伝えるために最適なグラフを選択することが必要となることを説明。 ・用途に応じて各項目のオプションの表示を変更する練習をする。	2.0
	3 複数テーブルの分析	(1)複数テーブルへの作成 ・複数テーブルを扱う際に必要となる任意のシートやセル範囲の指定の仕方を説明。 ・複数テーブルへの効率的なデータ入力方法を練習する。 (2)複数テーブルのデータ集計 ・数式によるセル参照やリンク貼り付けなど、効率的にデータ集計を行うために必要な方法を説明し、データ集計ができるよう練習する。	2.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント	企業においては効率的な業務遂行や成果把握のためには大量データの集計処理が必須となる。データベース専用ソフトがなくとも普段業務で使用している表計算ソフトで大量データが扱えること、データベースソフトに匹敵するデータ処理が行えることを演習を通じて体験していただき、各企業でのEXCELの活用範囲と作業効率の拡大に役立つ訓練内容とした。
---------------	--

講師から一言	ピボットテーブルの操作をマスターすることで、関数の知識が少なくてもある程度の集計・分析が可能になります。効率的な方法に絞って解説する内容にしておりますので、基礎的なコースを受講された後に本コースを受講することで関連業務の質と効率が向上すると思います。
--------	---